

なす

- 22. 6月17日 転進命令下る、第4中隊鈴木中尉は山3478部隊に配属他の4ヶ中隊は師団直轄部隊となり真栄平に転進す
- 23. 6月18日 大里の陣地に到着戦闘配備完了
- 24. 6月19日 敵戦車6台攻撃し来る、夜襲撃退せるも戦死者10数名を出す
- 25. 6月20日 新垣の3476部隊長金山大佐より小(米?)須突破の命を受く
- 26. 6月21日 第2小隊中隊本部に引き上げ残存者60名内外残すのみ、夜連絡者到着新垣にて金山部隊長戦死の報告あり

沖縄作戦に於ける第24師団通信隊史実資料

昭和22年3月25日

第32軍残務整理部

第24師団通信隊史実資料

1. 部隊履歴の概要

前駐屯地 満州国東安省東安

隷属関係 第5軍隷下第24師団

部隊名 満州第975部隊

昭和15年7月6日動員下令、7月13日動員完結、7月15日駐屯地出発、7月20日博多上陸、8月1日門司出航、8月5日沖縄県那覇港上陸

2. 作戦時の編成

通信隊長	陸軍大尉	保科清一郎
副官	中尉	大阪建三郎
指揮班長	准尉	太田徳雄
無線隊長	少尉	宮川 武
有線第1小隊長	少尉	根本国明
有線第2小隊長	准尉	石黒 満
特別小隊長	少尉	三橋徳治
器材班長	兵技伍長	斉藤 清
救護班長	軍医大尉	名和高一

3. 戦闘実施場所

昭和20年3月23日敵機動部隊沖縄周辺に近迫空海協同の攻撃は苛烈を極め4月1日愈々中頭郡嘉手納、北谷正面より上陸を開始す
当時我が方の正面は石部隊及び山3474部隊の一部を以つて戦線は確保せら

れるも戦況は意の如くならず

4. 戦闘経過の概要

(1) 昭和20年3月23日 敵沖縄本島侵攻により4月23日師団首里戦線に転進にいたる迄与座師団司令部を基点とし軍及び師団内各部隊間の通信連絡に任じ敵の熾烈なる銃爆撃に依りしばしば切断せられたるも将校以下の努力に依り能く之を確保するを得たり

(2) 師団戦闘司令部4月20日津嘉山進出と共に同所をく次いで首里進出と共に同所を基点として通信連絡に任ず敵銃爆撃各種砲撃は益々熾烈を極め軍総攻撃前後に於いては断線に次ぐ断線により各部隊との連絡困難を極む

(3) 5月28日 島尻地区転進と共に6月2日新垣次いで同6口宇江城に転移す

(4) 6月23日 師団司令部及び各部隊間の通信連絡は敵の攻撃に依り遂に途絶するに至り各部隊は各個の戦闘を実施するに至る

沖縄作戦に於ける第24師団制毒隊史実資料

昭和22年3月25日

第32軍残務整理部

部隊の履歴（沖縄進駐までの履歴）の概要

1. 昭和17年1月10日北部第6部隊に入隊、同4月北部第6部隊出発
東安省満州第795部隊第1中隊に転属、同18年満州第795部隊より満州第24師団病馬収養所満州第93部隊に転属す
昭和19年7月6日 動員下令同13日完結同16日満州第93部隊東安省出発

釜山港-博多下関同19年8月5日沖縄金武湾石川村に上陸す同19年7月5日山第3477部隊転属

2. 部隊の作戦開始時の編成

山第3477部隊 部隊長 五十嵐大尉
中隊長 川崎中尉
川崎中尉
小隊長 高橋中尉
中井少尉

3. 指揮隷属・配属関係

山第3490部隊（基満州第93部隊）より昭和20年2月5日山第3477部隊（制毒隊）に転属す、同20年6月7日山第3477部隊より山第3478部隊（搜索隊）に転属す

4. 戦闘経過の概要

昭和20年4月20日頃運玉森歩兵山第3476部隊（89i）第2大隊に配属、発煙の任務を以つて運玉森高地付近に於て斬り込み戦闘す

20年5月4日山部隊総攻撃の際同じく発煙の任務を以つて小波津の線に於て戦闘（此の戦闘に於て発煙班2ヶ小隊の内約半数の死傷を出す）

同5月20日以降30日迄山第3477（制毒隊）、山第3490（病馬廠）兵器修理所の要員を合わせ指揮し特編歩兵1箇大隊を編成、大隊長五十嵐大尉指揮の下に前田の線に於て守備並びに夜間は山第3478部隊（搜索隊）の斬り